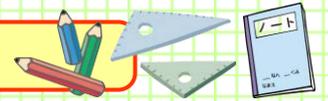


⑩ 検討対象校の学校適正配置シミュレーション



検討対象校の施設の状況や学校等の特徴、学区外就学者数の状況、さらに適正配置後の学校規模や通学距離など、あらゆる面から検討した結果、検討対象校の望ましい規模及び配置を下記のとおり提示します。

小規模校(過小)	 <p>永治小学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の児童数は、近接する木刈小学校への学区外就学者数の増加により、さらなる減少が見込まれます。また、現在、複式学級や欠学年を有しており、このまま児童数の減少が続くと、新たな欠学年の発生や複式学級の編制が余儀なくされることから、隣接校との統合により、学校規模及び配置の適正化を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 木刈小学校との統合を進めます。(進学先は木刈中学校)</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 永治小：22名/3学級(うち特別支援学級数0) 木刈小：552名/19学級(うち特別支援学級数2)</p>	
	 <p>宗像小学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の児童数は、近接するいには野小学校や六合小学校などへの学区外就学者数の状況により、横ばい若しくは減少に転じる可能性があります。また、現在、複式学級や欠学年を有しており、児童数が減少した場合は、新たな欠学年の発生や複式学級の編制が余儀なくされることから、隣接校との統合により、学校規模及び配置の適正化を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 いには野小学校との統合を進めます。(進学先は印旛中学校)</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 宗像小：27名/5学級(うち特別支援学級数1) いには野小：503名/20学級(うち特別支援学級数4)</p>	
	 <p>本荻第一小学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の児童数は、近接する滝野小学校やいには野小学校などへの学区外就学者数の状況により、横ばい若しくは減少に転じる可能性があります。また、現在、複式学級を有しており、児童数が減少した場合は、複式学級が増加する恐れもあることから、隣接校との統合により、学校規模及び配置の適正化を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 滝野小学校との統合を進めます。(進学先は滝野中学校)</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 本荻第一小：43名/6学級(うち特別支援学級数1) 滝野小：400名/15学級(うち特別支援学級数2)</p>	
	 <p>船穂小学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の児童数は、近接する高花小学校や内野小学校などへの学区外就学者数の状況により、減少する可能性があります。また、現在、各学年1学級を有していますが、今後は複式学級の編制が予測されることから、隣接校との統合により、学校規模及び配置の適正化を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 高花小学校との統合を進めます。(進学先は船穂中学校)</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 船穂小：53名/8学級(うち特別支援学級数2) 高花小：309名/13学級(うち特別支援学級数2)</p>	
	 <p>本荻第二小学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の児童数は、近接する小林北小学校などへの学区外就学者数の状況により、さらなる減少が見込まれます。現在、各学年1学級を有していますが、今後は複式学級の編制が予測されることから、隣接校との統合により学校規模及び配置の適正化を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 小林北小学校との統合を進めます。(進学先は小林中学校)</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 本荻第二小：57名/7学級(うち特別支援学級数1) 小林北小：175名/8学級(うち特別支援学級数2)</p>	
	 <p>本荻中学校</p>	<p>【現状と課題】 今後の生徒数は、近接する滝野中学校や印旛中学校、小林中学校への学区外就学者数の状況により、さらなる減少が見込まれます。また、現在、各学年1学級を有していますが、全校生徒数が少なく、人間関係の固定化や部活動の選択肢などの課題があることから、それらの課題解決に向けた対応が必要と考えます。</p> <p>【検討結果】 R1.8変更 滝野中学校との統合を進めます。なお、通学距離への配慮として、隣接校である小林中学校及び印旛中学校と連携して通学区制度の弾力的な運用を行い、小林中学校と印旛中学校への学区外就学を柔軟に認めることとします。</p> <p>【生徒数・学級数】 R1.5.1現在 本荻中：46名/4学級(うち特別支援学級数1) 滝野中：264名/10学級(うち特別支援学級数2)</p>	
	 <p>小倉台小学校</p>	 <p>原小学校</p>	 <p>木刈中学校</p>
大規模校	<p>【現状と課題】 今後の児童生徒数は、現在、学区内で住宅開発が急速に進んでいることから、今後もさらなる増加が見込まれます。これにより、施設教室数の不足が予測されることから、児童生徒数の推計を注視するとともに、この基本方針に基づき適切な対応を図る必要があります。</p> <p>【検討結果】 施設の増改築により必要な教室数を確保するとともに、学区内で新たな住宅開発が進められる場合は、隣接校区との通学区の見直しを図ります。また、小倉台小学校及び木刈中学校については、児童生徒数増加の緩和策として、隣接校区と連携した通学区制度の弾力的な運用を実施します。</p> <p>【児童数・学級数】 H28.5.1 現在 小倉台小：926名/31学級(うち特別支援学級数3) 原小：768名/26学級(うち特別支援学級数2) 木刈中：441名/15学級(うち特別支援学級数2)</p>		



【お問い合わせ】
印西市教育委員会 学務課 学校適正配置推進係

〒270-1396 千葉県印西市大森 2364-2
TEL:0476-33-4704(直通) FAX:0476-42-0033 E-mail:gakumuka@city.inzai.chiba.jp